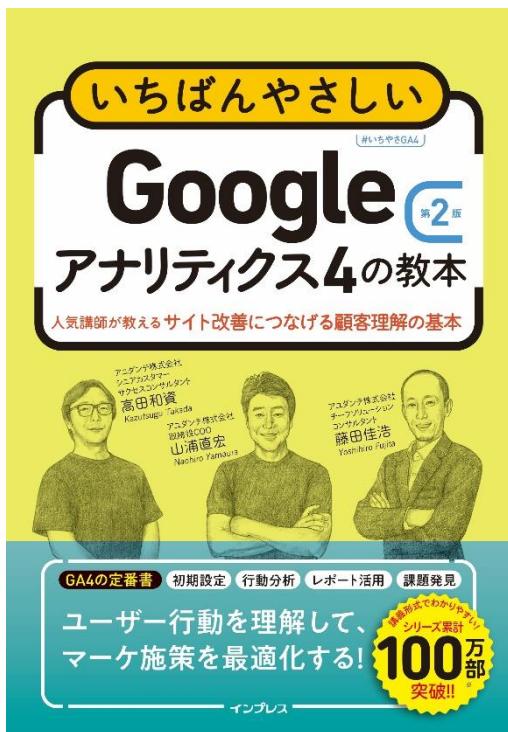


各 位

2026年2月20日  
株式会社インプレス

GA4 の定番解説書を大幅改訂、網羅性が向上  
『いちばんやさしい Google アナリティクス 4 の教本 第2版 人気講師が教える  
サイト改善につなげる顧客理解の基本』を2月20日（金）に発売

インプレスグループでIT関連メディア事業を展開する株式会社インプレス（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：高橋隆志）は、Googleアナリティクス4の初期設定からデータ計測、サイト改善に生かす実践手法までを丁寧かつやさしく解説した書籍『いちばんやさしい Google アナリティクス 4 の教本 第2版 人気講師が教えるサイト改善につなげる顧客理解の基本』を2026年2月20日（金）に発売いたします。



■Googleアナリティクス4の定番解説書を3年ぶりに大改訂！

企業のデジタルマーケティングにおいて欠かせないアクセス解析ツールであるGoogleアナリティクス4（以下、「GA4」と表記）は、画面の変更や機能追加が頻繁に行われるため、利用者側にも常に最新知識へのアップデートが求められます。特に初学者にとって、機能の多さはそのまま使用するハードルの高さにつながります。本改訂版では、刊行以来好評を得てきた初版『いちばんやさしい Google アナリティクス 4 の教本 人気講師が教える行動計測とユーザー理解の基本』から大幅にページを増補し、最新のGA4の機能に対応しました。基本概念から設定方法、レポートの見方や読み解き方、サイト改善の考え方までを図解とともにによりわかりやすく整理。初心者でもしっかりと理解でき、マーケティングやWeb運営の現場ですぐに役立つ実務視点の内容へとアップデートしています。

**LESSON 02**

## 【学習を始める前に考えておくべきこと①】 Googleアナリティクス4の利用目的を整理する

このレッスンのポイント

皆さんはGA4のデータを何のために使うのでしょうか？ その「目的」をしっかりと確認しておくことで、多くの機能や画面があるGA4を迷わず使いこなすことができるようになります。

» 「データの利用目的は何ですか？」

GA4はさまざまなユーザーの行動データを計測できます。それを見ることで、広告からの集客施策やWebサイトやアプリの改善ができるようになることは、よく知られていると思います。筆者がコンサルティングや講義をしていて、最も多く寄せられる質問のひとつに「まず、どのレポートを見ればいいですか？」といふものがあります。さまざまなデータがあるので、何をどこから見ればよいのかわからぬ、という悩みが多いようです。

私の回答はたったのひとつ。「あなたがGA4のデータを利用する目的は何ですか？」です。

利用目的をすぐに明確に答える人はほとんどいません。しかし結果としてデータの活用がうまくいっている人は、まず間違いなく目的が明確ですし、目的を明確にすればその後の分析やアクションもスムーズに進みます。

» アクション(施策)とプロセス(手順)から目的を考える

データの利用目的を具体的に考える上で重要なポイントは2つ。アクション(施策)とプロセス(手順)です。Webを例にすると、アクションには「Webサイトを良くするために」のアクションと、「Webサイトに集客するため」のアクションの2つがあると考えてください。ビジネスでWebサイトを運用する場合の大きなアクションがこの2つになります。そして、それぞれのアクションに共通するプロセスが、データを「取る」「見る」「使う」という3つのステップになります(図表02-1)。

Chapter 1  
Googleアナリティクス4の利用目的を整理する

014

Chapter 1  
Googleアナリティクス4のデータ活用の流れ

015

図解で確認しながら GA4 の基本が網羅的に理解できる

## ■導入から分析・改善までを1冊で体系的に学べる！

GA4の導入準備、イベント計測の設定、コンバージョン管理、レポート分析、広告連携まで、実務に必要なテーマを幅広くカバーしています。データの「取得」「理解」「活用」という流れを意識した構成により、単なる操作解説にとどまらず、データをビジネスに生かすための基礎力を身につけられます。

## ■こんな人におすすめです！

- GA4をこれから学びたいWeb担当者、マーケティング担当者
- GA4を実務で使えるようになりたい人
- GA4を学び直したい人
- 初版『いちばんやさしいGoogleアナリティクス4の教本 人気講師が教える行動計測とユーザー理解の基本』の読者で最新UIに即した画面操作を知りたい人など

## ■本書の特徴

- AI時代でも変わらないGA4の基本を整理
- 施策に直結するイベント計測と改善方法がわかる
- 探索、広告、収益レポートなど主要機能がひと通り使えるようになる
- 初心者でも挫折しない「いちばんやさしい」解説

図表02-1 Googleアナリティクス4の利用目的の考え方

目的	取る	見る	使う
プロセス	データ計測・取得 データがなければ物を始まりません。まずは、必要なデータを正確にきちんと計測・取得することが重要です。	集計・分析 データを計測・取得したままでパラノラムの状態です。集計することでしっかりと表示し、より詳細な行動がわかることがあります。	アクション(施策) 集計レポートや分析結果に基づいて、改善のためのアクションを立て実行することができます。
	サイト観察 サイトの行動データを正しく計測するための導入や設定を行う	サイト内行動レポート を中心に建設し、課題ボイントについては深堀り分析をしていく	集計・分析結果に基づき、サイト施策を計画し実行していく
アクション(施策)	サイトの行動データに加え、キャンペーン計測やコンバージョン計測のための設定を行なう	キックオフレポートを見て広告効率を確認し、改善ポイントを分析していく	集計・分析結果に基づき、キャンペーンの改善施策を計画し実行していく
	» 「自分の役割」から利用の目的を定義する		
<p>アクションとプロセスの複数点が整理できたら、最後は「あなたの自身」がどこに当たるのかを確認しましょう。あなたはWebサイトに関わる仕事に携わっていますか？ 広告やSEOなど、集客に関わる仕事ですか？ そして、データ計測の設定を担当する方でしょうか？ それともレポートを作成する方でしょうか？ データ分析の担当者？ 広告運用の仕事？ サイト制作の担当者……？</p> <p>自分の仕事がどのアクションで、その中のどのプロセスを担当しているかによって、あなた自身のGAの利用目的が明確になるでしょう。もちろん、業務の幅が広いときは目的が複数になることもあります。その場合もアクションやプロセスごとに目的が整理できなければ、必要なデータやレポート画面がわかり、GA4を使いこなせるようになるでしょう。</p>			
<p>データを有効に活用するためには、ツールを使う前に考えておくべきことがあります。事前に考えておくべき重要なポイントは、GA4の活用目的です。</p>			

015

## ■書誌情報



書名：いちばんやさしい Google アナリティクス 4 の教本 第 2 版 人気講師が教えるサイト改善につなげる顧客理解の基本  
著者：山浦直宏／高田和資／藤田佳浩 著  
発売日：2026 年 2 月 20 日（金）  
ページ数：288 ページ  
サイズ：A5 判  
定価：2,420 円（本体 2,200 円 + 税 10%）  
電子版価格：2,420 円（本体 2,200 円 + 税 10%）※インプレス直販価格  
ISBN：978-4-295-02388-3

◊Amazon の書籍情報ページ：<https://www.amazon.co.jp/dp/4295023884>  
◊インプレスの書籍情報ページ：<https://book.impress.co.jp/books/1125101080>  
◊書影ダウンロード：<https://dekiru.net/press/502388.jpg>

## ■著者プロフィール

山浦直宏（やまうら・なおひろ）

アユダンテ株式会社

取締役 COO

Google プラットフォーム活用を中心としたデジタルマーケティングコンサルタント。Google アナリティクスの個人資格講座で合格者 1200 名を育成する一方、書籍執筆なども行う。

藤田佳浩（ふじた・よしひろ）

アユダンテ株式会社

チーフソリューションコンサルタント

フロントエンドエンジニアとして大手ソーシャルメディア会社のプラットフォーム開発など約 15 年経験を積む。GA のサポート実績は 10 年以上。

高田和資（たかだ・かずつぐ）

アユダンテ株式会社

シニアカスタマーサクセスコンサルタント

Google アナリティクス 360 専任コンサルタント。WEB 制作会社を経て、人材系サイトや EC サイトのマーケティングを担当。

以上

---

### 【株式会社インプレス】 <https://www.impress.co.jp/>

シリーズ累計 8,000 万部突破のパソコン解説書「できる」シリーズ、「デジタルカメラマガジン」等の定期雑誌、IT 関連の専門メディアとして国内最大級のアクセスを誇るデジタル総合ニュースサービス「Impress Watch シリーズ」等のコンシューマ向けメディア、「IT Leaders」をはじめとする企業向け IT 関連メディアなどを総合的に展開・運営する事業会社です。IT 関連出版メディア事業、およびデジタルメディア&サービス事業を幅広く展開しています。

### 【インプレスグループ】 <https://www.impressholdings.com/>

株式会社インプレスホールディングス（本社：東京都千代田区、代表取締役：塚本由紀）を持株会社とするメディアグループ。「IT」「音楽」「デザイン」「山岳・自然」「航空・鉄道」「モバイルサービス」「学術・理工学」を主要テーマに専門性の高いメディア&サービスおよびソリューション事業を展開しています。さらに、コンテンツビジネスのプラットフォーム開発・運営も手がけています。

**【本件に関するお問合せ先】**

株式会社インプレス 広報担当：丸山

E-mail: [pr-info@impress.co.jp](mailto:pr-info@impress.co.jp) URL : <https://www.impress.co.jp/>

※弊社はテレワーク推奨中のため電話でのお問合せを停止しております。メールまたはWebサイトからお問合せください。